

げんきっこ family

夏の号



おもな内容

- 2~3 早ね早おき大作戦!ほか 7 読書のページ
4~6 夏のイベント情報 8 かんたん☆朝ごはんほか



地域ぐるみで子育てを支える高野口地域共育コミュニティ本部の取組が今年で4年めをむかえました。

高野口地域共育コミュニティでは、コーディネーターさんたちが地域のみなさんとのふれあいを大切に、学校・家庭・地域の「つながり」づくりに日々活動してくれています。

さて、東日本大震災による被災地では、地域コミュニティ本部を設置している学校のほうが、設置していない学校よりも避難所の開設がスムーズに進んだという調査結果があります。設置校ではコーディネーターさんが学校と地域をつなぐ橋渡し役などの役割を果たしてくれたようです。



地域のボランティアさんが実技授業のサポートに入ってくれています。(応其小学校の家庭科の授業の様子)



「コーディネーターの魅力はなんですか?」と質問させていただいたところ、「**出会いと発見**です!」という答えが返ってきました。

ボランティアさんをお願いした人から、また新しいボランティアさんを紹介していただき、どんどん新たな「人の輪」が広がっています。

そんなつながりの中で、「地域には、まだまだすばらしい力をお持ちの方々がいるんだ!」といううれしい発見がある日々だそうです。

このような活動が「いざ」という時に、地域の底力になると思っています。



高野口中学校図書室で
図書館ボランティアさんと



放課後学習ボランティアの様子
(高野口中学校)



橋本市高野口地域共育コミュニティ本部(高野口中学校・高野口小学校・応其小学校・信太小学校)

コミュニティ本部では学校に入ってくるボランティアさんを募集しています。保護者の方だけでなく、地域のみなさんのご参加をお待ちしています。 問い合わせ 教育委員会社会教育課 33-6112